



平成 20 年 10 月 2 日

大阪経済記者クラブ会員各位

## 大阪の都心舟運活性化に向けた、小型船の短期係留について ～東横堀川に、2 週間の“高架下マリナー”～

### 【お問合せ先】

大阪商工会議所地域振興部 中野・中村

( 0 6 ( 6 9 4 4 ) 6 3 2 3

0 9 0 - 9 1 1 1 - 4 3 7 9

大阪商工会議所 都市再生委員会（委員長：錢高一善・(株)錢高組社長）は、大阪小型水上旅客船協議会などとともに、大阪の都心舟運活性化に向け、10月6日～19日に、水の回廊の一角である東横堀川に小型船の係留場所を設置する。

大阪都心部では、ここ数年、船着場などのハード整備が進むとともに、大型定期船（乗客30人以上）の便数、利用客数ともに増加し、舟運は活性化している。今後さらに裾野を広げるためには、小型船（乗客5～10人程度）を個人観光に活用するなど、多様なスタイルで舟運を楽しめる環境が望まれるが、都心部には小型船の係留場所がなく、大正区や西宮など遠方の係留地から通っているのが現状。そこで、今秋の舟運イベントにあわせ、東横堀川の阪神高速高架下に小型船の係留場所を設け、利便性を向上させる。

期間中は、小型船を活用した水上タクシー運航やクルーズなど具体的なプログラムを実施するほか、係留に関する枠組みやルールなどもあわせて検討する。

今回の事業は、行政、経済界、舟運事業者、地元まちづくり組織の連携により実現したものである。今後も、来年の「水都大阪 2009」に向け、「クルーズ&ウォーク」など、小型船の活用方策の検討を行っていく。

### <大阪の都心舟運活性化に向けた、小型船の短期係留の概要>

時 期 : 10月6日(月)～19日(日)

場 所 : 東横堀川阪神高速本町出口右岸上流 (別紙参照)

主 催 : 大阪商工会議所、大阪小型水上旅客船協議会、  
東横堀川水辺再生協議会、大阪市

参加艇 : 3艇(浪切天神号、OPUA号、River Shuttle号)

\*大阪小型水上旅客船協議会の登録艇、今秋の舟運イベントに参加

小型船活用プログラム :

10月12～13日 「中之島は大きな帆船」(主催:大阪21世紀協会)での水上タクシー運航

10月18日 大阪発見まちあるきツアー「水上タクシークルーズ&ウォーク」  
(主催:大阪商工会議所、大阪市、東横堀川水辺再生協議会)でのクルーズ運航

添付資料:係留場所位置図

以 上

# 東横堀川・小型船係留について

2008.09 大阪小型水上旅客船協議会  
東横堀川水辺再生協議会

大阪の都心舟運の裾野を広げるためには、大型定期船だけでなく、小型船の活性化が必要です。しかし、都心部には小型船の係留場所がなく、大正区や西宮など遠方から通っているのが現状です。

舟運イベント期間前後、都心部での短期係留が可能になれば、小型船舟運の活性化につながると考え、東横堀川の阪神高速の高架橋脚を生かした係留を実施します。

## 実施概要

- 【主催】 大阪商工会議所、大阪小型水上旅客船協議会、東横堀川水辺再生協議会、大阪市
- 【時期】 平成20年10月6日（月）～10月19日（日）
- 【小型船参加舟運イベント】
  - 10月12～13日 「中之島は大きな帆船」（21世紀協会主催）での水上タクシー運航
  - 10月18日 「クルーズ&ウォーク」（大阪市・大阪商工会議所・東横堀川水辺再生協議会主催）でのクルーズ運航
- 【参加艇】 大阪小型水上旅客船協議会登録の3艇（浪切天神号／OPUA II号／River Shuttle号）



## 係留の方法

### 【係留地へのアクセス】

- ・公園フェンスの扉を通り、斜面に設置した簡易階段を下りて石垣護岸にアクセスする。
- ・足場が悪いところは、板などを設置して安全を確保する。

### 【小型船出入の方法】

- ・南向きに下ってきた船が少し下流でUターン、北向きで護岸に接近、斜めに停泊する。
- ・係留場所から後方に出船、橋脚から十分はなれたところでターンする。

### 【係留の方法】

- ・各小型船がアンカーを船首・船尾に設置し、護岸から独立して係留する。
- ・護岸側等、側面に浮きを設置して護岸・船との衝突を防ぐ。

### 【乗船の方法】

- ・引っ掛け棒で船体を引き寄せ、護岸から直接小型船に乗り込む。

